

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名	稲木 光晴	職名	教授	学位	博士(体育科学)(筑波大学, 1994年)
----	-------	----	----	----	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
運動生理学	筋疲労, 持久性パフォーマンス

研究課題
持久性競技パフォーマンスの向上に関する研究

担当授業科目
運動と健康(前期)(看護学科) 運動と健康(福祉学科) チームスポーツ(前期)(看護学科) チームスポーツ(前期)(福祉学科) チームスポーツ(前期)(栄養学科) チームスポーツ(前期)(英語, 観光文化学科) 生涯スポーツ(後期)(看護学科) 生涯スポーツ(後期)(福祉学科) 生涯スポーツ(後期)(栄養学科) 生涯スポーツ(後期)(英語, 観光文化学科) 運動処方論(後期)(福祉学科) 専門研究Ⅰ(通年)(福祉学科) 専門研究Ⅱ(通年)(福祉学科) 母性の運動科学(前期)(助産別科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【運動と健康】 1. 生理学的メカニズムなど、理解に時間を要すると思われる事柄については、繰り返しモデルの提示を行った。 2. 授業の終わりに、授業内容に関する質問がある場合には紙に書いて提出してもらい、次回の授業で質問に答えるようにした。
授業科目名【チームスポーツ】 1. カロリーカウンターを使って、実際の運動と消費カロリーを関連づけさせた。 2. チームで練習をしたり、試合内容などについて意見交換したりすることによって、十分にコミュニケーションを図れるようにした。
授業科目名【生涯スポーツ】 1. カロリーカウンターを使って、実際の運動と消費カロリーを関連づけさせた。 2. 学生主体でラケットスポーツの練習や試合を行わせることにより、自分たちにあった練習の仕方や試合の進め方を考えさせた。

授業科目名【運動処方論】

1. 机間指導や質問をすることによって、学生の理解度合いをチェックしながら授業を進めた。
2. 授業の最初に小テストをすることで、授業の復習ができ、内容を理解しているかのチェックを行った。

授業科目名【母性の運動科学】

1. 妊婦運動の効果について、最新の情報を提供するように努めた。
2. 授業の終わりに、授業内容に関する感想や質問を紙に書いて提出してもらい、質問については次回の授業で答えるようにした。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本体力医学会 American College of Sports Medicine	評議員 (1999年～)	1988年4月～現在に至る 1993年4月～現在に至る

2 0 1 8 年 度 研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期等
1. シニアサマーカレッジ からだと頭を使って「活き活き長寿」	講師	2017年7月28日（本学）
2. だいすきにつぼん子どもたちに伝えたい「食」と「あそび」と「ことば」	スタッフ	2018年8月21日、11月3日、12月22日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
福祉学科長 人事委員長 保健福祉学研究所 運営委員 陸上部顧問